

市民が主役のまち さばえ

NPO法人エル・コミュニティ 竹部美樹



3大地場産業(眼鏡・漆器・繊維)の「ものづくり」のまち
めがねフレーム国内シェア 約9割



オープンデータ先進地

オープンデータ アプリ イベント データシティ鯖江とは



スマートグラス(ウェアラブル端末)の開発



ウェアラブル端末から見える未来へのまちづくり、覗いてみませんか？
優秀な企画作品は、その場でアプリになります。



鯖江市のまちづくり



オープン
データ



めがね
日本一



JK課



鯖江市体験移住事業

とりあえず
住んでみる

ゆるい移住

「ゆるい移住」という実験

目的やスタイルを限定しない、自由で開放的な体験移住プロジェクト



田舎で就職



田舎で農業



田舎で起業

日本初！
自治体に、女子高生の課

市役所や公共サービスからは、はるかに遠い存在の「JK」ごと女子高生。そんな、「おとなと子どもの中間」をゆらめくゆるい市民の地元JKたちが、福井県鯖江市から新しく楽しい未来のまちづくりを始めます。

鯖江市役所JK課、2014年4月スタート！

4月14日18時～
JK課記者会見

お問い合わせ
▶ 記者会見申込は
こちら

ふるさとづくり大賞
総務大臣賞（平成27年度）

盛れる、1年。

鯖江市役所JK課
Sabaes City Office JK section



鯖江市のまちづくり



キア河
キャンプト和田



地域づくり総務大臣表彰(2009年)
グッドデザイン賞(2014年)
地域再生大賞・ブロック賞(2016年)

大学のないまち
鯖江に
全国から学生集結



市長を
やりませんか?
- Be a Mayor of Sabae City -

総務省後援





なぜ鯖江で 地域活動を？

牧野市長とのオンラインでの出会い



『さばえ.jp』百さんのブログです

サイバーエージェント 社長藤田晋さんの出身地、福井県鯖江市長のサイト



世界にはばたく地域ブランド
「めがねのまちさばえ」

平成28年鯖江市成人式実行委員会

にほんブログ村地方自治ランキング **1位** を目指し日々更新に頑張っています。

皆様の応援が励み、“1日1回、応援クリック”、何卒よろしくお願ひします。



地方自治

ブログトップ

記事一覧

画像一覧

最新の 記事

越前市議会・鯖江市議会
行政懇談会が開催され
ます。

おとな版地域活性化プラ
ンコンテストでした。

第13回目「SABAEスノー
フェスタ」

第6回「狂言 in かわ
だ」

越前漆器協同組合意見
交換会にお招きいただき
ました。

プロフィール



hyakuo

プロフィール | ビグの部屋
なう | グルっぽ | ベタ

性別:男性
誕生日:1941年11月18日 0時頃
血液型:E型
お住まいの地域:福井県

読者になる

メンバーになる

メッセージを送る

ビグともひまる

東京から客観的に見た地元



久しぶりに商店街を歩いた際
閑散としていて悲しくなる



心に残っていた父の言葉



「長く続いてきた歴史あるお祭りを、
自分達の代で終わらせるわけにはいかない。」



私たちが世代が
「地域」に入らなければ
いけない

市 長 を
やりませんか？

- Be a Mayor of Sabae City -

鯖江市地域活性化プランコンテスト

コンテストについて



全国の学生に参加者を募り、選考を通過した24名（3人1チーム×8チーム）の学生が鯖江に集い2泊3日の合宿を行います。市長の講義や市内各地の聞き込み調査を行いながら、鯖江を良くするためのプランを考え、合宿最終日には、市長、商工会議所会頭、企業、市民の方の前でプレゼンテーションを行い最優秀チームを決めます。（毎年9月に開催）
※今年9月に第9回開催予定。



全国から集う学生達



■大学別

京都大学	49名	東京大学	30名
早稲田大学	29名	慶応義塾大学	28名



一橋大学/九州大学/北海道大学/佐賀大学/法政大学/東京外国語大学
明治大学/立命館大学/横浜国立大学/静岡大学/埼玉大学/滋賀大学/名古屋大学
中央大学/関西大学/電気通信大学/立教大学/立命館大学/上智大学/東京理科大学
立命館アジア太平洋大学/福井大学/福井県立大学/デジタルハリウッド大学/日本大学
同志社大学/奈良先端科学技術大学院/富山高等専門学校

(第8回までで164名が参加)

■参加学生の特徴

- ・「リーダー」になりたいと思っている学生
- ・論理的思考能力がある学生
- ・コミュニケーション能力がある学生
- ・地域活性に興味がある、活動している学生

オピニオンリーダーとなる学生

社会人になってからも過去参加者OBOGがスタッフとして鯖江に関わってくれている。

行政による具現化検討結果公開



平成26年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調査／チームイカスミ

提案内容	提案名	超一丸地方都市鯖江		
	提案者	第7回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームイカスミ		
	提案内容	東京にいる鯖江出身者のつながりを広げ、鯖江に人が戻るきっかけをつくる		
	概要	東京に出た大学生は鯖江市とのつながりがなくなる ⇒福井の県人寮を活用 例)明倫学舎：福井県出身の男子学生寮で毎年新入生が入り、いつでも会議ができる ⇒二世の会をつくる・・・鯖江市内で自営業を営んでいる親を持つ人たちの会 活動内容：実家の家業の悩みや問題についてじっくり話し合うことができる 目的：定期的な関わりを持つことで、鯖江にいらなくても鯖江とつながってられる ⇒武田舞彩さん(鯖江市出身でアイドルグループGEMのセンター)を応援することでつながる ・GEMの衣装シェア100%・鯖江産繊維を提供して衣装を作る ・鯖江の人や団体に応援するファンクラブを結成する ・一日市長や吹奏楽フェスティバルに呼ぶ ○市民が一人ひとりお互いにつながることで人が戻る		
期待される効果	一人ひとりが鯖江とのネットワークを維持する中で鯖江に人が戻るきっかけになる			
具現化検討部署	秘書企画課	情報広報課	商工政策課	
判断	一部採択	一部採択	採択	
採択内容	武田舞彩さんを吹奏楽フェスティバルのゲストに迎える	鯖江ブランド大使のPRを行う	武田舞彩さんの衣装に鯖江産繊維を提供する	
形態	既存事業に組入れ	既存事業に組入れ	既存事業に組入れ	
採択年度	新年度(H27年度)から実施	今年度(H26年度)から実施	開始年度未定	
検討結果	事業詳細または不採択理由	明倫学舎にいる鯖江市出身の学生に、鯖江ブランド大使についての説明文を送付する。就任を希望する学生に、鯖江ブランド大使認定証やパンフレット等を送付し、鯖江市のPRに努めていただく。	必要に応じて、鯖江繊維協会と協議のうえ鯖江産繊維を提供する。	

机上の空論で終わらせるのではなく、その場で実現性について地域の方々にフィードバックをもらうことができる鯖江市地域活性化プランコンテスト。さらに行政にて具現化に向けて検討し、その結果を公開。
 ※優秀プランだけではなく、
 全チームのプランを具現化に向けて検討

地方創生戦略室で各課に振り分け、担当課にて検討。一部採択なのであれば、どの内容が採択され、どのように活かしていくのか詳細を記載



自分達のプランが時間をかけて協議され、実際に事業として採択されることで、学生達の意欲を高めている。

市民・行政、様々な団体がプラン実現



<第1回提案プラン実現>

- ・遣東使(2009年度実施)
- ・めがねギネス(2011年5月5日実施)
- ・キッズチャレンジ(2009年度実施)

※プランコンテストとは別提案、内閣府元気再生プロジェクト



<第2回提案プラン実現>

- ・西山公園、愛の鐘(2009年度に設置)
- ・めがね祭り(2010年度より毎年実施)

<第3回提案プラン実現>

- ・トキワ荘プロジェクト(2011年度予算化)

<第4回提案プラン実現>

- ・サバ男、サバ子の鯖江大好きPR隊:さばえブランド大使(2012年8月スタート)
- ・中国の学生と鯖江市民の交流(2012年8月から毎年実施)

<第5回提案プラン実現>

- ・鯖エージェント(2013年11月から毎年実施) ←学生団体with 主催

<第6回提案プラン実現>

- ・鯖江セレクト図書分館!(市民協働パイロット事業:2015年1月オープン)





「おとな版」を開催

毎年スタッフとして参加してくれている参加者OBOGからの提案により
社会人向けを開催。

地元愛に燃えるアツい鯖江人と、全国から集まった多種多様なブレインが
タッグを組んで鯖江市の地域活性化策を提案

鯖江市地域活性化
プランコンテスト **第3回**

おとな版 サバエはついで
ヨソモノが
ホンキで考える↓↓

全国の精鋭の本気がここに！
4名のアツい鯖江
コーディネーターが政策に対する悩みや課題を
自身の携わる事業や、「お題」提示！！
精鋭たちのプレゼンを是非ご鑑賞ください！
Be a Mayor of Sabae City -otona version-

日 2016年1月24日(日)
時 14:00~17:00

場 鯖江市 市民ホールつつじ
所 鯖江市本町2丁目2番16号
※できるだけ公共交通機関をご利用ください

★お問合せ先
学生団体 with gakuseidantai.with@gmail.com

観覧者
募集
中
!

Be a Mayor of Sabae City -otona version-

主催：学生団体 with
共催：NPO 法人エル・コミュニティ、NPO 法人イデオパ
後援：鯖江市
協賛：合資会社加藤吉平商店（清酒「梵」、「日本の真」製造元）
株式会社土屋漆器
協力：福井高専放送メディア研究会

おとな版鯖江市地域活性化プランコンテスト 検索

実現プラン



鯖江市役所JK課

日本初！
自治体に、女子高生の課

市役所や公共サービスからは、はるかに近い存在の「JK」こと女子高生。そんな「おとなと子どもの中間」をゆるめくゆるい街元の地元JKたちが、福井県鯖江市から新しくして楽しい未来のまちづくりを始めます。

鯖江市役所JK課、2014年4月スタート！

活動報告Blog
はコチラ
サポータースタッフが
活動内容などを
報告します。

子ども商店街あきんず

第1回 しょうてんがい
さばえ 子ども商店街 aKiND's

参加者
ぼしゅう中

● 出店日時：
2014年 8月9日(土)
午後5時~午後7時
(※事務局の学習会や準備会にも参加していただきます)

● 場 所：
古町商店街 ご緑市・夜市の会場
(鯖江市本町2丁目)

● 対 象：
鯖江市内の 小学4年生~6年生
3人で1チーム (定員：6チーム)
※応募者多数の場合は抽選させていただきます

● 参加費：
ひとり 2,000円 (活動時の食費など)

● 申し込み締切：
6月28日(土) 必着

● 申し込み方法：
うら面申込書を郵便、Faxで送付、
または受付にお持ちください。

● お問い合わせ先：
鯖江商工会議所 ことども商店街 係
電話 0770-51-2800

商店街のみなさんに教えてもらって
自分たちの手でお店を出してみよう！
きみは何屋さんをやってみたいかな？

<活動のながれ>

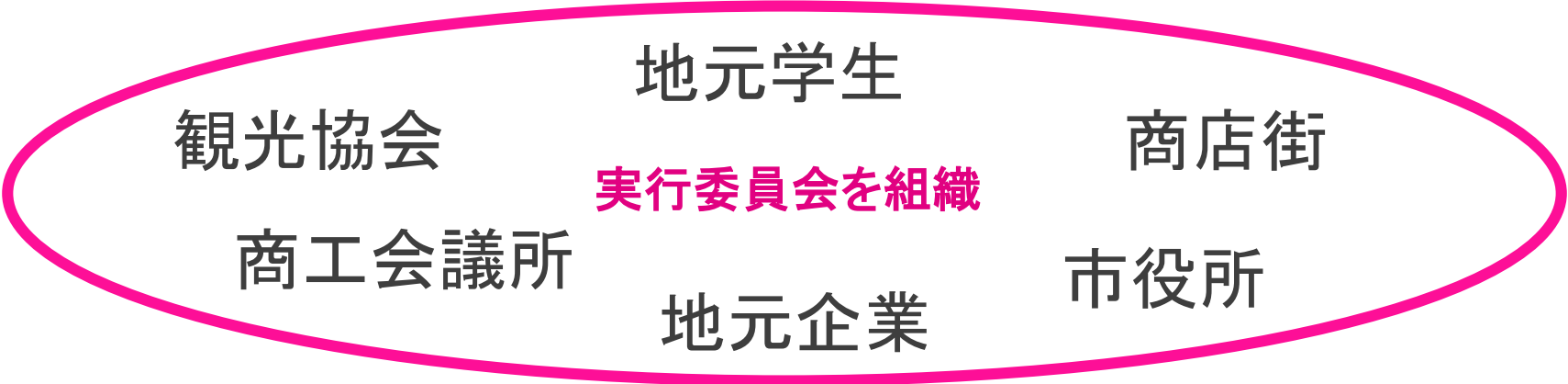


共に創る

運営体制



産 官 学 金 労 言



いろいろな立場の方が連携する事で、スムーズに運営ができる。また、参加学生を迎え入れる態勢ができ、より鯖江の良さを学生達に知ってもらう事ができる。

地元の方々の支援



地元学生スタッフが主体的に



福井県内の大学に通う地元学生がスタッフとして運営。
地元学生に刺激を与え、意識改革、
そしてスキルアップを促し自ら行動するきっかけを与えている。



刺激を受けた地元学生達が、学生団体を立ち上げ、めがねギネスなど今度は自分達が主体となって活動を行っている。<2011年1月 学生団体with 設立>

【活動理念】人と人とをつなぐ、つながる

鯖江市 学生活動拠点施設「らてんぽ」から世界へ！

【活動内容】

ご縁市にて鯖江特産野菜を使ったお店出店、おとな版鯖江市地域活性化プランコンテスト運営、日中外国語大学と地域住民との交流事業 等



【メンバー】 2016年1月現在
計 28名

福井県立大学生	18名
福井大学	4名
仁愛大学生	3名
福井高専生	3名

(現在社会人のOB/OG 計98名)



市民が主役のまち、鯖江

市民主役条例

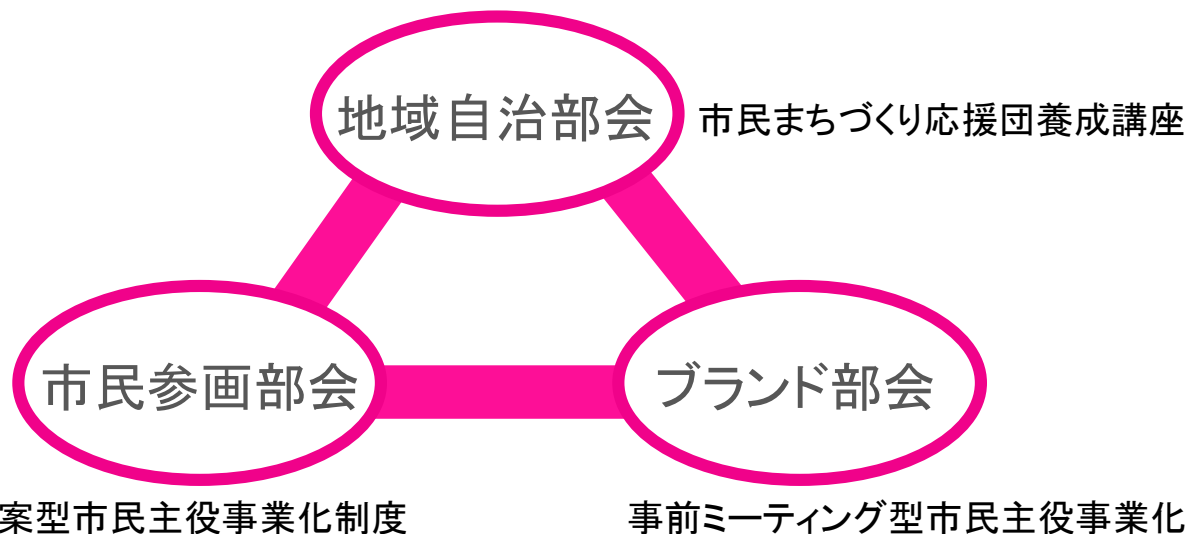
市民主役条例



市民の参加と協働で、未来への夢と 希望が広がる鯖江をつくるために
2010年4月1日に施行された、「市民による市民のため」の条例

第1条 目的	第7条 地域づくり
第2条 基本理念	第8条 ボランティア、市民活動
第3条 ふるさと学習	第9条 情報の集約、発信
第4条 鯖江ブランド創造	第10条 市民と行政の情報共有
第5条 ふるさと産業	第11条 市民参画
第6条 地産地消	第12条 条例の自己点検、見直し

【市民主役条例推進委員会】



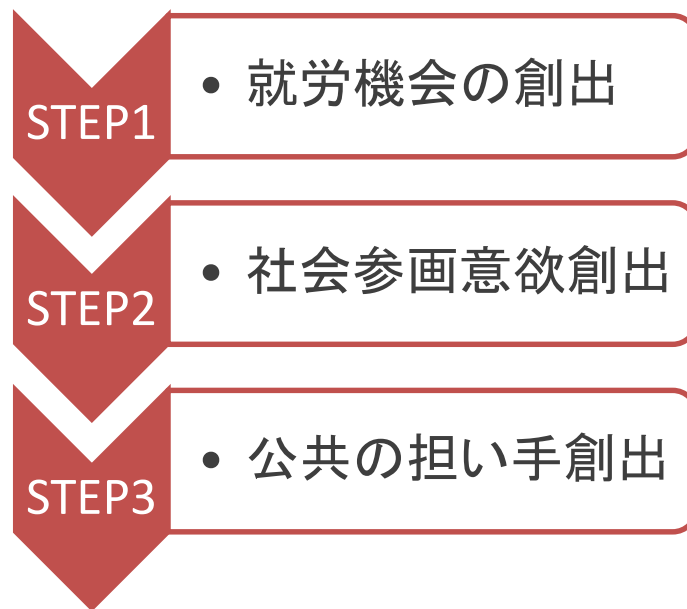


目的

鯖江市が行っている公共的な事業の中から、市民が「新しい公共」の担い手として自ら行った方が良い事業を「市民主役事業」として創出することで、公共における民間と行政との役割分担を見直し、**市民の自治力を高める**ことが目的。

もたらされる効果

- ・公共サービスの更なる充実
- ・スリムで効率的な市役所
- ・市民の市政への主体的な参画の実現
- ・市民主役意識の醸成

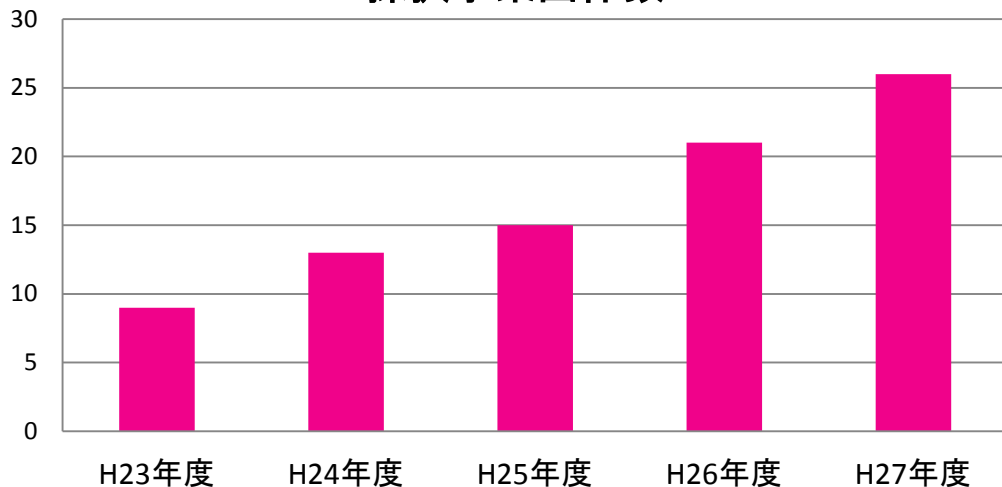


採択結果



事業実施年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
提案募集事業数	67事業	88事業	96事業	91事業	93事業
採択事業数	17事業	21事業	31事業	32事業	37事業
採択事業団体数	9団体	13団体	15団体	21団体	26団体

採択事業団体数



<内訳> ※延べ数

市民団体	企業	NPO等法人	学生団体
32	13	38	2

【効果】

行政面

民間のシビアな目線を取り入れることにより1つ1つの事業のコスト意識が醸成。

民間



新たなチャレンジをすることにより、仕事の幅が拡大。

知恵を使うまちづくり





鯖江のように小さな街では、財政面で余裕はない。



-  行政から補助をもらい続けると、頭を使わなくなる。「知恵」を絞って、どうやって資金を用意するか考え続けることが大切。
-  「知恵」を使って一生懸命動けば、“自分にもできることをやろう！”という、周りの市民も巻き込んだ「まちづくり」も、動き出す

とはいえ、どうすれば民間資金を巻き込めるのか？



-  「市民主役の鯖江の取組」に対する共感の輪は、域内外で、もっとみつけられるはずではないか？
-  自立に向けて取組をする側が資金集めの努力をするのは当然であるが、周りの共感する人が資金提供しやすい環境作りも大事。

自立までのステップ



提案型事業受託



実績作り
スキルアップ



主体的に実行
資金面で自立



育ちやすい環境作り→行政サポートや仕組み作り

- (種) はじめは行政の補助をもらいつつ「提案型事業」としてスタート。
- (芽) 実績を積み上げ、着実にスキルアップを図り、自立に向けて努力。
- (花) 最終的には、行政の事業を「自分事」として主体的に捉え、資金面で自立。





(環境作り) 自立を促すためには、民間企業や市民から資金協力を進めるような仕組みが必要。例えば、自治体にはではなく、こうした事業に対して直接資金提供する人への、目に見えるメリット(税制措置など)を作れないか？
資金集めの円滑化ばかりでなく、志や共感の輪を広げていく機会を広げる意味でも、活動する側にとって、大きな利点。

もう一歩踏み出すために





活動の輪を広げるには、もっと働く女性の力が欲しい。



-  「女性はこうあるべき。」という固定観念の強さ。活躍する20代には、「そんなことしてないで結婚しろ」との声も。女性が外に出辛い現実。
-  女性の就業率や共働き率だけでは見えない、女性の働く現場の実態。更に意識改革を進めないと、若い女性の活躍は難しい。

「前に出る」ことができる、地元の人材を育てたい。



-  提案型市民主役事業化制度を経験する中で、自らが担い手になることを経験させる。プランコンテスト実行委員会の委員長を毎年女子学生とすることで、女子も前に出ていいんだということを、身体で感じてもらう。
-  学生のうちから、もっと地域に関わり、その成果が地域にも評価されるような仕組み作りを。もっと全国に。

